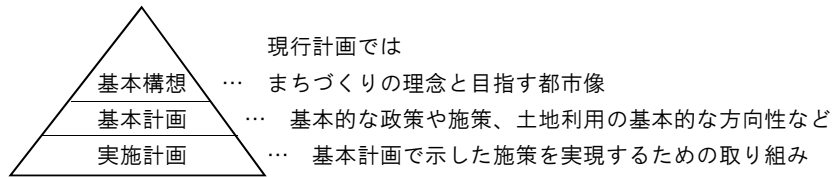


## 次期総合計画の策定について

### 1 次期総合計画策定の方向性

#### ○計画構成

- 基本構想、基本計画、実施計画の3層構造（現行計画と同様）



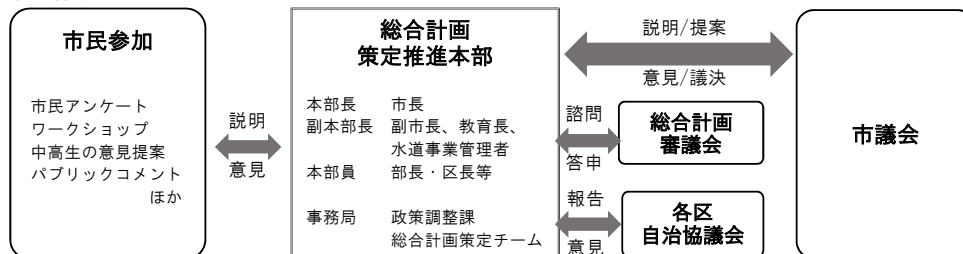
#### ○計画期間

- 8年間（現行計画と同様）
- ⇒ 令和5年度（2023年度）から令和12年度（2030年度）まで
- SDGs（持続可能な開発目標）と終期が合致

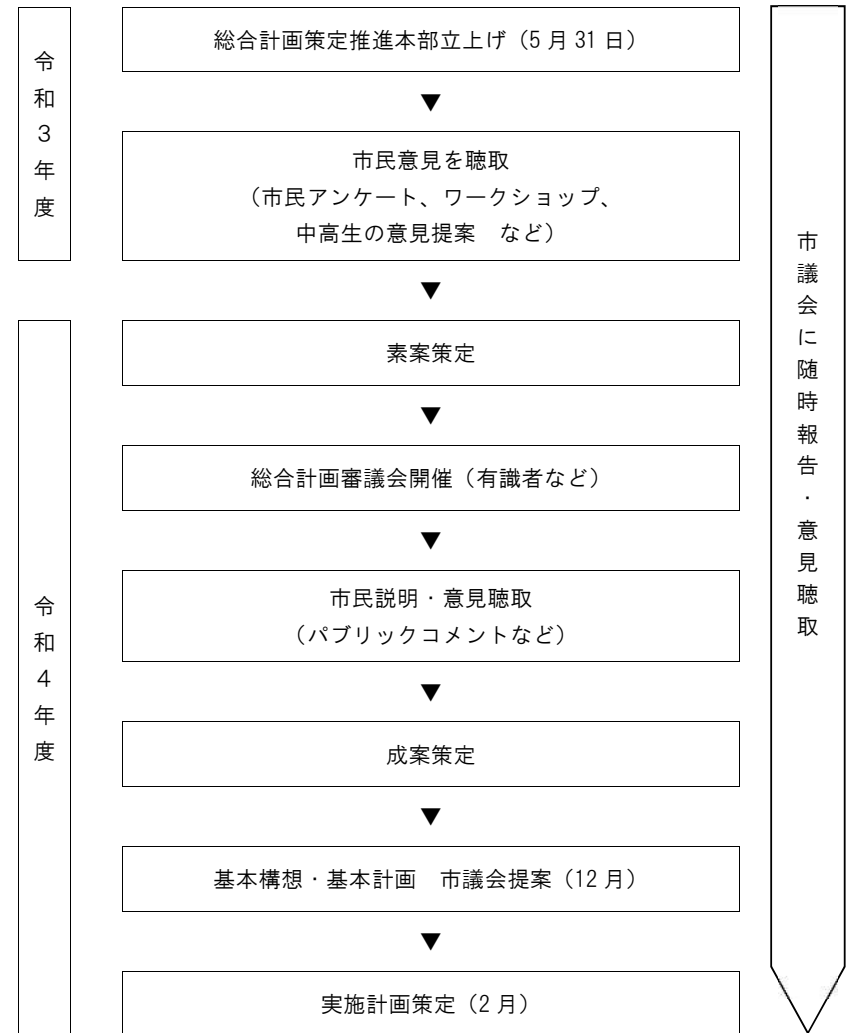
#### ○策定におけるポイント

- ウイズコロナ・ポストコロナ時代におけるまちづくりの方向性を示した、「選ばれる都市 新潟市」を踏まえて、市民・市議会の意見を聴取して策定
- ⇒ 市民意見の聴取にあたっては、オンラインでのワークショップなど感染症対策に配慮して実施
- 総合計画を通じてSDGsを推進
- ⇒ 市の政策・施策とSDGsにおける17の目標との関係性がわかるよう整理

#### ○策定体制



### 2 次期総合計画策定スケジュール



次期総合計画策定の市民参加事業 全体像スケジュール

【考え方】 ・多様で幅広い市民の皆さまから意見をお聞きし、次期総合計画策定に活かす。  
・ウイズコロナ時代における適切な手法を取り入れ、多彩な参加形態を確保する。

年度	目的	手法と性質	取り組みとねらい	参加対象者	想定人数	実施日程と会場等	
令和3年度	幅広く定量的な基礎資料の収集	アンケート ・市政全般 ・選択式設問 ・定量的意見	新設 市民アンケート	幅広い市民意識調査 ・書面やLINEによるアンケート ・まちづくりに関する設問	市民	4,000人	R3.10月中旬発送 文書・オンライン回答
			新設 LINEアンケート		新潟市LINE ともだち登録者	50,000人	R3.11月頃 オンライン(LINE)回答
	個別テーマの定性的な意見聴取	ワークショップ	新設 みんなで考え、みんなで創る 2030年の新潟市 ～より住みよく暮らしたいまちにするために～	ウイズコロナ・ポストコロナ時代の 新潟市のまちづくりに対する意見聴取 ・多様多世代な視点による意見交換 ・コロナ禍による意識変化	多様・多世代 (転入者、高齢者、 外国人など)	50人	R3.11月7日(日) ユニソンプラザ
			新設 ババママのまちづくりワークショップ	自然減による人口減少への意見聴取 ・子育て世帯による意見交換 ・理想の子ども数と実際の子ども数	子育て世帯	50人	R3.9月27日・10月3日 10月4日・10月16日 子育て支援施設4カ所
			拡充 学生が描き、創る未来の新潟市 ワークショップ	社会減による人口減少への意見聴取 ・学生による意見交換 ・職業を理由とした20～24歳の転出	大学生、短大生、 専門学生	30人	R3.10月23日(土) オンライン開催
	次期区ビジョン策定に向けた意見聴取	・個別テーマ ・意見交換 ・定性的意見	自治協議会 区ビジョンワークショップ	次期区ビジョン策定に向けた意見聴取 ・自治協議会委員による意見交換 ・区ビジョンの目標到達点や課題を整理	自治協議会委員	240人	北区 R3.11月25日 東区 R3.11月25日 中央区 R3.11月26日 江南区 R3.11月25日 秋葉区 R3.12月24日 南区 R3.12月22日 西区 R3.12月23日 西蒲区 R3.12月23日
上記に加え、 中高生・各団体の意見を聴取	その他	新設 市内中学・高校生 政策提案	中学・高校生の意見や提案を聴取 ・「10年後の新潟市」等に関する学習を支援 ・学習成果としての意見や提案	中学生、高校生	2,240人 (5校)	通年実施 R4.3月頃市長報告	
		関係団体への意見照会	関係団体への意見聴取 ・経済団体、NPO、市民団体	各種団体	未定	R3.10月下旬から11月 文書回答	
令和4年度		その他	自治協議会意見交換 パブリックコメント等	自治協議会委員 市民	未定	未定	

# 区ビジョン基本方針策定に向けた区ビジョンワークショップ

R3.10.28 北区地域総務課

## 1 開催の目的

区ビジョン基本方針・まちづくり計画に基づき実施してきた取組みと成果を検証するとともに、次期区ビジョンの策定に向け、現状認識と将来の課題を把握し、目指す区の方向性を考える機会とする。

## 2 開催概要

### (1) 期日・時間

令和3年11月25日(木) 午後1時30分～ 2時間程度

※終了後区自治協議会開催

### (2) 参加者

自治協議会委員

### (3) グループ分け

現在の区ビジョンの「目指す区のすがた」ごとに5班を編成

### (4) 進行

NPO 法人まちづくり学校ファシリテーターによる進行。

総合ファシリテーターと各班にサポートファシリテーターを配置。

### (5) 概ねの進め方(予定・別紙「ワークショップのまとめ方」参照)

- ① 「目指す区のすがた実現に向けた取組み」ごとに「現状把握シート」を用いて、これまでの取組みについて効果や課題について話し合う。
- ② これまでの取組みや現在・将来の課題をふまえて、今後の方向性を話し合う。
- ③ 「目指す区のすがた実現に向けた取組み」ごとの今後の方向性をふまえ、各「目指す区のすがた」の分野における目指す区の方向性について話し合い、班ごとに発表する。

## 3 ワークショップ開催後の流れ

R3.12～ R4.1	ワークショップをふまえ 区役所で次期区ビジョン基本方針のたたき台を作成
	▼
R4.2～3	自治協議会で再度ご意見をいただく
	▼
R4.4～10	審議会(有識者等)・パブリックコメント等でご意見をいただく (あわせて次期区ビジョンまちづくり計画を検討)
	▼
R4.12	市議会へ提案・議決

# I うるおいとやすらぎのあるまち ←目指す区のすがた

A グループ：秋葉 一夫、古田 二郎、小合 三美、新津 四子、古津 五郎

## 目指す区の方向性

③この分野での目指す区の方向性をとりまとめ、各班から発表

○将来的に××が△△となるような○○を□□していきたい。  
○... と◆◆の調和を図るため、××と○○を行っていく。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

### ①里山の保全と活用 ←目指す区のすがた実現に向けた取り組み

①現状把握シートを参考に、これまでの取り組みの振り返りを行う

○里山を知らない人が多い。  
○里山活動について、○○が足りない。

### 今後の方向性

○里山がより多くの市民に活用してもらえるよう、一層の周知を行う案していく。

②-1 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える

### ②川を活かした親水空間の有効活用

○阿賀野川水辺プラザが非常ににぎわっている	○新津川遊歩道は、能代分流公園までの間に休憩のためのベンチ・トイレ（簡易）がない。
○新津川沿いの遊歩道の雰囲気がいよ。今後も残してほしい。	○新津川の遊歩道の街灯が消えたまま、いつまでも放置されている。アフターケアをしっかりやってほしい。
○地域のクリーン作戦は、自治会の一体感が生まれるため、非常にいいイベントである。	○フェスティバルが○○しているのではないかな。

②-2 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える

### 今後の方向性

○新津の遊歩道を○○の○○として周知していく  
○秋葉区は信濃川、阿賀野川など大河に囲まれている。輪中の街として発信を！

### ③人と自然が調和した美しい景観のまちの保全

○△△が非常に衛生的である。 ○××対策に問題あり。

②-3 取り組みの振り返りを基に、今後の方向性について考える

### 今後の方向性

○××がすぐに見学できるのは日本で秋葉だけであることを周知していく

### 《 計画の構成》

#### 【 にいがた未来ビジョン(新潟市総合計画)とは】

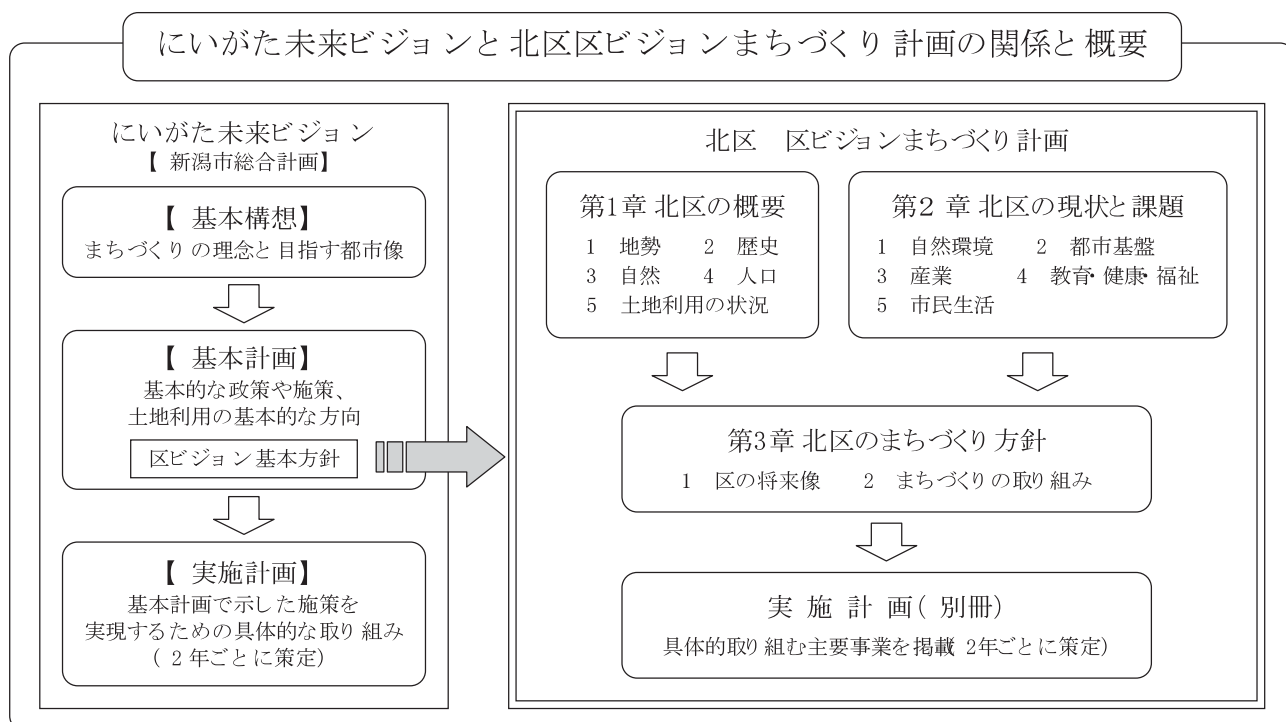
- 「 にいがた未来ビジョン」は、新潟市が目指すまちづくりについて示すもので「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。
- 「基本構想」は、新潟市の将来に向けたまちづくりの理念と、目指す都市像について示したものです。「基本計画」は、基本的な政策や施策、土地利用の方向性「区ビジョン基本方針」などを示したものです。いずれも平成27年度から8年後の平成34年度までを計画期間としています。
- 「実施計画」は、基本計画で示された施策の実現に向けた具体的な取り組みを示したもので、2年ごとに見直しを行います。

#### 【 区ビジョン基本方針とは】

- 「区ビジョン基本方針」は、区におけるまちづくりの基本方針を示すもので、にいがた未来ビジョン「基本計画」の一部として位置づけます。
- 区民と行政が区の将来像を共有し、お互いに役割を分担しながらまちづくりを進めるため、区自治協議会に代表される区民と、区役所が協働して策定しました。

#### 【 区ビジョンまちづくり計画とは】

- 「区ビジョン基本方針」に基づき、まちづくりの具体的な取り組みを明らかにするものです。「区ビジョン基本方針」同様、区自治協議会に代表される区民と、区役所が協働して策定しました。
- 計画期間は、平成27年度から平成34年度までの8年間となります。
- 構成は、「第1章 北区の概要」「第2章 北区の現状と課題」「第3章 北区のまちづくり方針」となっています。
- 「第3章 北区のまちづくり方針」の「主な取り組み」として、具体的な事業を掲載する「実施計画(別冊)」は、2年ごとに見直しを行います。



## 参考：北区 区ビジョン基本方針 抜粋

### 【 区の将来像】

「自然・活力・安らぎにあふれるまち ー住みたくなるまち 北区ー」

### 【 目指す区のすがた】

《 豊かな自然と共生するまち》

- 福島潟をはじめ、阿賀野川などの河川、海岸や田園風景など、先人たちが残してくれた豊かな自然環境や水辺空間を保全し、自然と共生するまちを目指します。
- 豊かな自然環境を積極的に活用することで、その新たな魅力を引き出し、市民が憩えるまちを目指します。

《 都市機能が充実したまち》

- 道路整備や公共交通サービスのさらなる充実を図ることにより、利便性の高いまちを目指します。
- 国際拠点港湾ー新潟東港の港湾施設の整備及び港湾機能の拡充を目指します。
- 豊栄駅周辺のまちづくりと都市基盤整備の充実を目指します。

《 活力ある産業のまち》

- 産学官の連携による新産業の育成や企業立地環境の整備を推進し、雇用の場の創出を目指します。
- 地域の魅力を活かした商業の振興を図り、活力あるまちを目指します。
- 安心安全な農水産物を供給するとともに、6次産業化を推進し、「稼げる」農水産業を目指します。自然や文化資源を活かし「キテ・ミテ・キタクなるまち」を目指します。

《 学びあい、健康で、人にやさしいまち》

- 文化・スポーツ活動を通して、区民のさらなる一体感の醸成を目指します。
- 学びあいやふれあいを通して、地域に誇りをもてる人づくりを目指します。
- 支えあい、助けあいを大切にし、安心していつまでも健康で暮らせるまちを目指します。
- 子育て支援の環境を整え、子どもを安心して産み育てることのできるまちを目指します。

《 安心安全で暮らしやすいまち》

- 福祉・安全・教育など、さまざまな地域課題に対して、自治会・町内会、地域コミュニティ協議会、区自治協議会などと協働して解決にあたり、豊かで安心して暮らせるまちを目指します。
- 地域の自主防災組織と連携するなど、防災体制の強化を図るとともに、防犯活動や交通安全の推進に取り組み、人にやさしく安心で安全なまちを目指します。